

第179回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔丸数字は予想配点、合計70点〕

問1

A 原料	㊦ 80 ℓ
B 原料	㊦ 40 ℓ

問2

製品 100ℓあたり標準原価	㊦ 135,800 円
当月完成品標準原価	㊦ 4,481,400 円

問3 A原料費差異

価格差異	㊦ Δ26,400 円		
配合差異	㊦ 24,000 円	歩留差異	㊦ Δ24,000 円
加工費差異			
変動加工費 予算差異	㊦ 2,320 円	固定加工費 予算差異	㊦ Δ1,000 円
能率差異	㊦ Δ3,520 円	操業度差異	㊦ Δ33,000 円

問4

㊦ Δ218 円	計算過程 $\{ (3,300+330) \} \times 5/110 - (3,300+345) \times 5/110 \times 320 \div 218$
----------	---

問5

㊦ 138,796 円	計算過程 $114 \times 2/3 \times 1,200 + 114 \times 1/3 \times 680 + 114 \times 2/3 \times 1/4 \times 500 + 5 \times 2,520 \times 107/110 \div 138,796$
-------------	---

問6 適切な案を○で囲み、カッコ内に金額を補充すること。

(現状案 A原料を自社製造する案) のほうが、製品 100ℓ当たり [1,760] 円有利である。
 [完答で㊦点]

問題 2 [丸数字は予想配点、合計 30 点]

問 1

	正誤	理 由
1	× ②	原価企画は、製品ライフ・サイクルによりもたらされる中長期的な利益を確保するために必要な活動であり、短期的な利益の確保が目的ではない。 ②
2	× ②	VEにおける価値は、機能/原価によって表され、生産量/原価ではない。 ②
3	○ ②	
4	× ②	原価改善活動は、製品の製造段階において生産設計や生産諸条件を変更することで、原価標準を下回る原価水準を達成するための原価管理をいう。 ②

問 2

①	⑥	18,400	円
②	⑥	20,600	円
③	④	2,200	円